

令和 8 年度能登町立小木小学校学校経営ビジョン

(1) 学校教育目標

学び合う子 支え合う子 やり抜く子

(2) 目指す児童像

【学び合う子】意欲をもって自ら学び、地道に努力し、自分の考えを高めようとする子

【支え合う子】友達のよさを認め、相手の気持ちを考え、助け合いながら行動する子

【やり抜く子】心身ともに健康で、最後まで粘り強く取り組む子

(3) 学校経営方針

「あきらめない心を持ち、他と協力しながら創造的に活動する児童の育成」

(4) 学校経営基本方針

学力向上	確かな学力と「学びに向かう力」「表現する力」の育成	○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進し、子供たち一人ひとりの知的好奇心を揺さぶる授業を展開する。 ○ICT を効果的に活用し、自分の考えを可視化・共有することで、多角的な視点から思考を深める対話的な学びを強化する。 ○基礎・基本の定着を図りつつ、自ら問いを立てて探究する学習過程を重視し、生涯にわたって学び続ける「学びに向かう力」を育む。 ○学校からの積極的な情報発信と保護者・地域住民・こども園、中学校、高等学校と連携した教育活動の充実。 ○保護者と連携した個に応じた家庭学習の充実。
豊かな心	失敗を恐れない 強さと、前に進む 力の向上 ふるさとを大切に 思う気持ちの 涵養	○試行錯誤を称賛する校風を醸成し、困難に直面しても「やり抜く子」を育てる。 道徳教育や特別活動を通じ、自己肯定感と他者への共感を深める。 ○海洋教育を中心に、郷土愛の育成と教科横断的な体験活動の充実により、持続可能な地域社会へ貢献できる人材の素地を育成する。 ○共に認め合い、助け合う人間関係づくりによる、いじめ、不登校の未然防止。 ○「いじめ防止対策委員会」「児童会活動」等を活用した早期発見と早期解決のための関係機関との緊密な連携体制の確立。 ○家庭・地域との組織的な連携・協力による指導・支援体制の充実。
笑 顔	安全・安心でウェルビーイングな 笑顔あふれる学 校	○すべての児童と教職員が、安心感の中で自己を発揮できるウェルビーイングな環境を整える。(多様性の包括) ○児童の小さな成長を全教職員で見守り、認め、励ますことで、学校全体の幸福感を向上させる。 ○地域と連携した防犯、防災教育の充実、食物アレルギーへの組織的な対応。 ○震災後の心のケアの充実 ○健康や運動に関心を持ち体力を向上させる教育活動の工夫。